

2026年1月15作成

2026年2月5日修正

情報公開文書（研究へのご協力のお願ひ）

このたび当院では、『タキサン系抗がん薬治療患者における非薬物的介入と末梢神経障害の関連—後方視的観察研究—』を倫理委員会の許可のもと実施しますので、ご協力をお願いいたします。

1. 研究課題名

タキサン系抗がん薬治療患者における非薬物的介入と末梢神経障害の関連—後方視的観察研究—

2. 当該施設における研究責任者

社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院

看護部 外来化学療法室

柴田 恭子

3. 本研究の意義・目的

タキサン系抗がん薬（パクリタキセル、ナブ-パクリタキセル、ドセタキセル等）は、多くのがん治療で使用されている一方、手足のしびれなどの末梢神経障害を引き起こすことがあります。

当院では、末梢神経障害を少しでも予防・軽減することを目的として、圧迫療法や冷却療法などの非薬物的介入を行ってきました。

本研究は、これらの介入と末梢神経障害の経過や残存状況との関連について、過去の診療記録を用いて後方視的に調査し、今後のより良い看護ケアにつなげることを目的としています。

4. 研究の対象となる方

2023年6月1日から2025年10月31日までの間に、当院でタキサン系抗がん薬を含む治療を受けられた固形がんの患者さんが対象となります。

5. 研究方法

本研究は、診療録や症状スクリーニングシートなど、すでに記録されている情報を用いて行う後方視的研究です。新たな検査や治療、追加の負担が生じることはありません。

6. 研究で利用する情報

本研究では、以下の情報を使用します。

- 年齢、性別などの基本情報
- がん種、治療内容、治療経過

2026年1月15日作成

2026年2月5日修正

情報公開文書（研究へのご協力のお願ひ）

- 症状スクリーニングシートに記載された手足のしびれの評価
- 末梢神経障害に対する対応状況（圧迫療法、冷却療法、薬物療法など）

7. 個人情報の取り扱い

使用する情報は、研究用 ID を付与して匿名化し、個人が特定されることはありません。

研究目的以外に使用することはない、厳重に管理します。

研究データは研究終了後5年間保存し、保存期間終了後、電子データは完全に削除し、紙媒体は裁断処分します。

8. 研究への参加について（オプトアウト）

本研究は、通常の診療で得られた情報を用いる研究であるため、文書による同意はいただいておりません。

本研究への情報の利用を希望されない場合は、下記の『11.お問い合わせ先』までご連絡ください。

ご連絡いただいた場合は、研究対象から除外いたします。

なお、研究への参加を拒否されても、今後の診療に不利益が生じることは一切ありません。

9. 研究結果の公表

研究結果は、学会等で公表する予定ですが、個人が特定されることはありません。

10. 倫理審査

本研究は、神鋼記念病院倫理委員会の承認を得て実施しています。

11. お問い合わせ先

本研究に関するご質問や、研究への参加を希望されない場合は、下記までご連絡ください。

社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院

看護部 外来化学療法室

研究責任者：柴田 恭子

電話番号：078-261-6711